

美術科授業案

日時 平成30年3月7日(水) 4校時
生徒 2年C組 男子17名 女子18名
授業者 更科結希
授業場 美術室

1 題材名 「美しく光を透かすランプシェード」 [A表現(1)(3)・B鑑賞]

2 題材の目標

暮らしの中にある「あかり」の役割や機能に着目しながら、美しい光を透かす形のある空間を想起して、紙の加工法の試行や場に応じた形状の検討し、構想を練ることができるようにさせる。また、よりよい形を追求するために、鑑賞から得た知識を生かし、形の形成を行う中で、形と光がもたらす見え方や受け取るイメージの違いを、実感を伴いながら理解することができるようにさせる。

3 題材について

(1) 題材観

美術科において、感性や想像力などを豊かに働かせて、思考・判断し、表現したり鑑賞するなどの資質・能力を相互に関連させながら育成することや生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての実感的な理解を深めることに更なる充実が求められている。本題材では、目的や条件に応じたデザインの役割について実感を伴いながら理解できるよう、表現と鑑賞を相互に関連させ、[共通事項]の「形や色彩、材料、光などの性質や、それがもたらす感情を理解する」といった造形的な視点で対象を捉えることを通し、資質・能力の獲得につなげていく。

本題材では、新学習指導要領において、新たに加わったデザイン・工芸分野における主題の生成と客観的な視点をもって効果的に活用しながら広い視野で総合的に捉え、発想・構想することに着目した。こうした資質・能力の獲得のためには、生徒の感性や想像力に実感的に働きかける題材の在り方として、鑑賞の視点を表現に結び付けようとする相互の関連が大切である。

本題材は、暮らしの中のインテリアの役割や照明の役割に焦点を当て、デザインについて考えていくものとした。生徒は自分の生活を想起しながら、目的や条件を設定し構想を立て、よりよい形を目指していく。表現することを通して、選ぶ立場としての機会が多くなる生活と密接に関わる「工芸・デザイン」についての考えや造形の見方や感じ方を深めていきたいと考える。

今回、形作りに使用するファバークラフト紙は、水につけると柔らかくなり、乾燥すると硬化する性質を持ち、骨組みが必要のない素材である。そのため、形のよさを十分検討することができ、よりよい形の検討を図る上で適しているものと考えられる。

(2) 目指す児童・生徒像

図画工作・美術科が目指す生徒像は「表したい思いの実現に向け、試行や再考を繰り返し、創造活動の価値を見いだすことができる」姿である。本題材においては、対象や事象を捉える造形的な視点について実感的な理解を深め、感性や想像力を働かせて造形的なよさや美しさ、意図と表現の工夫などについて考え、創造的な表現の構想を練ることを目指している。そして、価値や心情を感じ取る感性を培い、美術文

化の継承と創造への関心を持つために、他者と協力し、思い描く表現の実現のための試行を繰り返し、創造活動の価値を見いだすことにつなげたいと考える。

美術科は、感性や想像力をはたらかせ、新しい価値を生み出すために、実体験を通して学ぶことができる教科であるからこそ、新たに学習することとこれまでの学習や生活経験との関連を十分に想起させながら学習を進めていく必要があると考える。

(3) 指導観

本題材は、目的や条件のもと主題を考え、形を形成していくため、個人が感覚的に持っている「よりよい形」のイメージで終わるのではなく、視点を共有し、形に結びつけていく構想の時間が重要となる。自分の考えを形に置き換えていく際に、形に光がどのように透かされた状態がよいと感じるのかを実感させていくことが大切である。

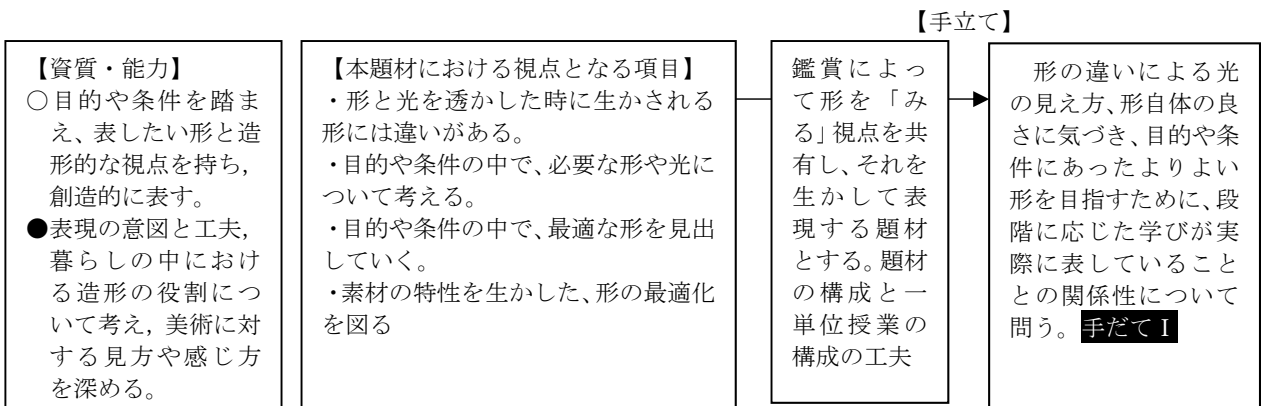
本題材における一貫した主体的な学び

小学校段階では、自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すると共に、自分のイメージをもつことが必要とされている。中学校2・3年生では目的や機能を考えた発想・構想の場面で、形や色彩の知識を活用して感情にもたらす効果を理解し、どのような感じで表現したいか主題と照らし合わせながら構想を練ることが求められている。

本題材における造形的な視点は、形本来が持つ美しさと光を透かしたことによる見え方の違いがあることに気づき、それを利用して目的や場面に応じた形を自在に操作していくことである。また、こうした視点で物事を捉えることは、美術科が求める造形的な見方・考え方を広げ、暮らしの中に存在する造形の役割や自分の見方や考え方を深め、創造の意味や価値についての深い理解へとつながっていくだろうと考える。

そのために、手立ての具体としては、題材構成における「みる」視点と「つくる」ことを連動させていくための鑑賞と表現の相互の関連を図ることによって主体的な学びへと向かわせる（個の確立）の場の設定をする。また、「みる」視点の共有化を図ることによって、構想してきたことがどのように自己の表したいことと関連しているかについて考えを深めていくための発問を行う（個の内面化）。

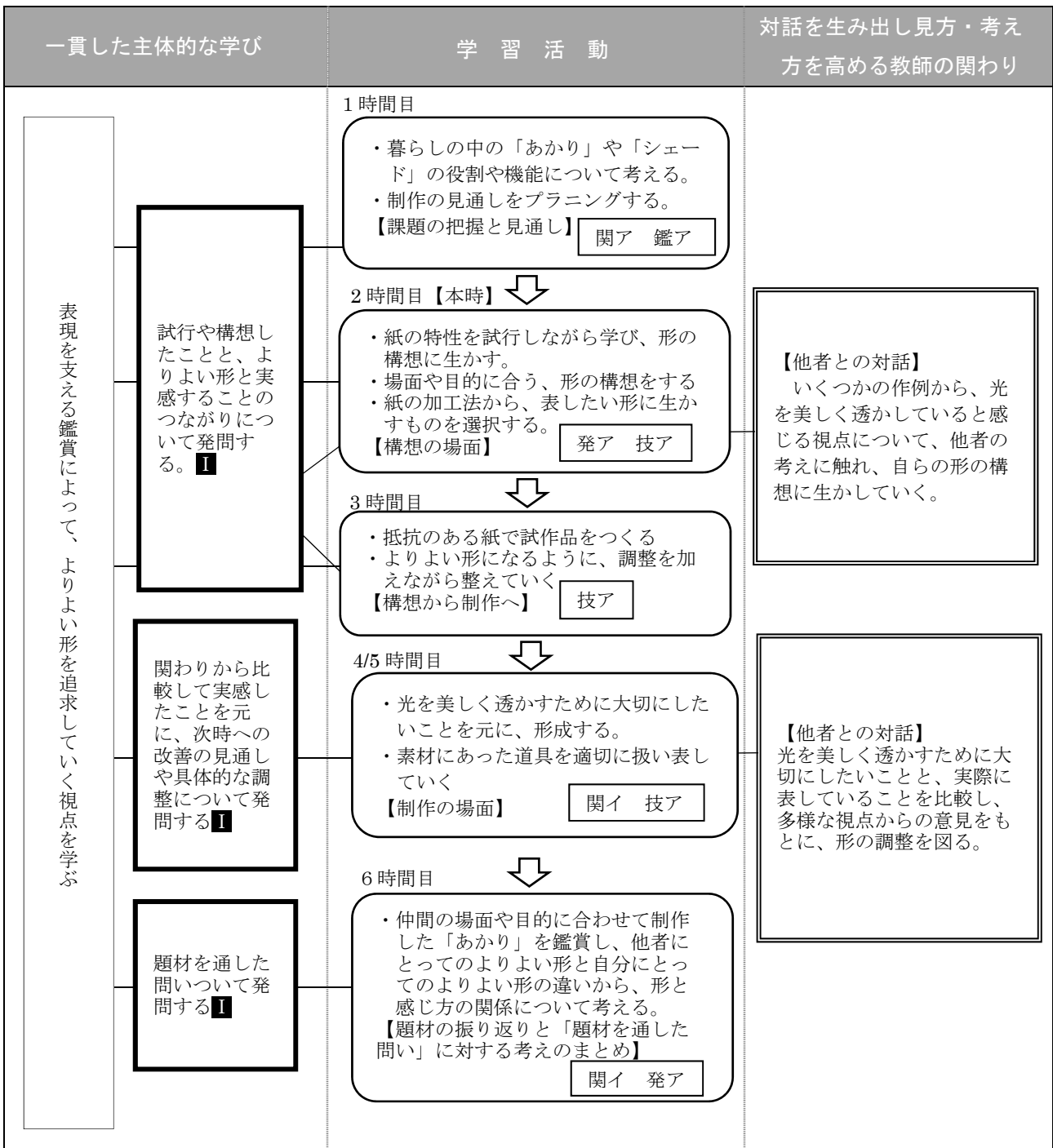
こうした手立ての前提として、題材の見通しを記す「プランニングシート」を全時間実施していく。「プランニングシート」は随時変更や追記が可能なものとして扱うことで、常に構想し、自己の考えを表出していくこと自体が、創造の土台となっていくことを美術科として大切にしたいと考えている。



4 評価規準

関心・意欲・態度	発想・構想	創造的な技能	鑑賞
<p>ア 主題などを基に、主体的に創造的な構成を工夫して構想を練ろうとしている。</p> <p>イ 材料や用具の特性などを活かし、見通しをもって表現しようとしている。</p>	<p>ア 主題などを基に想像力を働かせ、形や質感の効果を行かして、省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫して、心豊かな表現の構想を練っている。</p>	<p>ア 表したいイメージを持ちながら、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>	<p>ア 造形的なよさや美しさ、表現の工夫について思いや考えを説明し合い対象の見方や感じ方を広げ鑑賞している。</p>

5 学びの過程のデザイン（全6時間）



6 本時について（2／全6時間）

(1) 本時の目標

目的にあった「あかり」の場面の構想を膨らませ、素材や場面の条件を加味した上で、互いの試行を見合う中から、自分の求める形につなげる形や加工の要素を見出すことができる。

(2) 本時における研究の視点

指導観に示したので省略

(3) 本時の展開（○発問、△補助発問、□指示・説明）

学習活動（下位目標）	主な働きかけ・ 手立て	【評価方法】 個に応じた指導
<p>1 前時の自分の課題から本時の見通しを持つことができる</p> <p>・作り方がわからなかったので、調べて確認する ・どんな形がよいかアイデアが浮かばなかったので、決める</p> <p>自分の目的や条件に合う「ピン！とくる形」の理由を探ろう</p>	<p>□前時で課題に挙げていたことや今日の見通しについて確認しよう。 △どこに置く「あかり」ですか？ △どんな「役割」を持たせたいですか？ □自分の目的に合った「あかり」のデザインにつながる形のきっかけが見つかる構想の時間にしよう</p>	<p>【発言・プランニングシート】</p>
<p>2 作例から紙の加工の仕方と光の効果によって見え方が異なることを学ぶ。</p> <p>【予想される生徒の発言】 ・紙を2重にする ・丸める ・穴をあける ・折る ・紙を通した光とそのまま光が漏れたり様子が異なる。2重にすることでその隙間に光がいきわたる</p> <p>【予想される生徒の発言】 ・クシャクシャにして柔らかくする ・重ねて貼る ・細かく折る ・折り目をつける ・重なるところは暗く光が透ける ・折り目を付けたところで透け方が異なるだろう</p> <p>【予想される生徒の発言】 ・形を積み上げていく・ねじって ・切れ目だけを入れる・中に折り込む ・光がだんだんと色が変化していく様子が面白かったから、見ると和むから ・覆われているところと、抜けているところの均一なバランスが良かったから ・形にまんべんなく、光がいきわたっていることで、寝室に合うと思ったから</p>	<p>○次の作例の加工法は何からできているだろうか。（以下図を含め3点を掲示する）</p>  <p>△形自体はこれ以外の工夫はないだろうか △紙の加工にはこれ以外も考えられるだろうか</p> <p>□考えられることを、試作してみよう。同時に実際のファインークラフト紙で、できることも確認してみよう。（目的や条件の中で、やりたいことを見出す場面）</p> <p>○作例以外の加工を見つけただろうか △その中でも、形の構想の候補になるものはあるだろうか ○なぜ、その加工が気に入ったのだろうか。（ピン！の理由） △その形を生かして表現しようとしたときに、注意すべきことはあるだろうか</p>	<p>【発言とこれ以降の試作】</p> <p>【試作】 〔試行場面の工夫〕 ・実際に使用する素材での試行 ・試行しているものが、どのような光の透け方になるか確認できるような場の設定を行う 〔素材の試行〕 ・使用する用紙の抵抗を感じとる ・素材に適した加工をするための道具</p>
<p>3 いくつかの試作から、自分の表したいことに近い表現について考えカードに書くことができる。</p>	<p>○自分の目的にあった明かりのデザインにつながる形のきっかけをつかむことはできただろうか 手立てI-2</p>	
<p>4 次時への課題から計画を立て直したり、追記することができる。</p>	<p>□次の時間の見通しを確認し、計画の変更などを記載しよう。</p>	<p>【プランニングシート】</p>